

永福小学校の学校関係者等との意見交換会

永福小学校の保護者の方々を対象に、下記の日程で「永福小学校と永福南小学校との統合に関する意見交換会」を開催し、永福南小学校との統合について、教育委員会の考え方を説明しました。

意見交換会及び後日意見用紙にて寄せられた主な意見等を掲載しています。

* 掲載内容は、意見交換会などを通して、学校関係者に配布した資料と同様です。

《意見交換会開催日時》

① 9月4日 13:15～

② 9月8日 13:30～

[会場:永福小学校]

【4～6年生の保護者】

- ・永福南小は、少人数ながらもよい教育活動を行っているの、そのような学校と一緒にするのはよいこととも思う。
- ・適正配置は時代の流れであり、やむを得ないと思う。
- ・少人数で6年間を過ごしてきた永福南小の児童は、中学に入ってからギャップを感じている様子が伺える。
- ・統合したら、教員配置や施設整備等について、児童への影響に配慮しながら区も全面的にバックアップをしてほしい。
- ・永福南小と比較し、永福小には長い歴史がある。対等統合しても、吸収合併のイメージが拭えないと思うので、児童への配慮を一番に考えてほしい。
- ・統合に向けて施設整備を図っていく中で、22年度、23年度だけ学校希望制度の受入枠を縮小することは、不公平感を持つ人が現れる可能性がある。
- ・説明を聞き、統合ありきと受け止めたが、適正配置は決定事項なのか。
- ・統合の相手方を永福小としたのは、永福南小保護者の希望なのか。
- ・校名の変更について、どのように考えているのか。

【1～3年生の保護者】

- ・対等統合を基本としているのは理解できる。校名変更について、多数決で決めるものではないとのことだが、数も重視すべきことだと思う。
- ・児童数を比較すれば、永福南小と対等である必要はない。
- ・永福南小関係者の心情を察して、対等統合を基本としているのだと思うが、数の問題を抜きにして全ての人に都合のよい方法はとれないと思う。
- ・永福南小が開校する前は、永福小学区域の一部は大宮小学区域だった。統合した場合、そのエリアは大宮小に戻すのか。
- ・入学時には統合の話聞いていなかった。統合は自分の子どもが卒業した後にしてほしい。

[意見用紙提出期間:平成 21 年 9 月 4 日(金)～15 日(火)]

1. 適正配置の考え方について

No.	主な意見の概要	回答
1	永福南小との対等統合による校名、校章等が変わることは反対である。 (外25件)	「複数の学校を対等な立場で統合し、新たな学校を設置する考え方で進めることを基本とする」としているのは、あくまで学校適正配置基本方針の中で基本理念として示したものです。学校名、校歌等については、「変えることがありき」なのではなく、適正配置計画策定後に設置する両校の関係者からなる統合協議会の中で、各地域の実情等を踏まえた話し合いを通して、お互いが納得のうえ、新しい校名とするか、既存の校名を使うかといったことを決めていきたいと考えています。
2	1学年の児童数は多いほうがよい。統合により質の高い教育を期待する。	統合後は、両校がこれまで取り組んできた優れた教育活動の内容を共有し、児童の学力・体力、健全育成を一層図ることができる教育課程の編成・実施を行っていきたくと考えております。そのためにも、統合前から学校間の活動内容の共有と教育課程編成に向けた協議を充実させていきます。
3	「2つの学校を統合し、新しい学をつくる」という区の方針に納得できない。	学校規模の大小、歴史の長短にかかわらず、自分たちの学校に対する想いは同じものと考えております。「複数の学校を対等な立場で統合し、新たな学校を設置する考え方で進めることを基本とする」と基本方針で示しているのは、そうした想いを大切にしながらも、双方の関係者で、子どもたちにとって、どうすることが一番いいのかを同じ目線で話し合い、よりよい学校をつくっていきたく考えるからです。
4	永福小の保護者に統合してよいかの思を問うべきではないか。何も聞かずに「決まりました」では、納得できない。永福小が統合の相手校に最適であるという具体的な数字や根拠を示してほしい。	学区という点から見て、永福南小の学区内から永福小に通学している児童が66名と最も多いこと、永福小を軸にした場合、半径1km以内に永福南小の学区全域がほぼ納まること、また、近隣の他の地域に比べ、永福小学区域の児童数の大幅な減少が見込まれ、学区域の拡大が必要と思われることなどから、永福小が適当であると判断しました。統合はまだ決定しているわけではありませんが、意見交換を重ねながら、統合についてのご理解を得て計画として定めていきたいと考えています。
5	対等統合ではなく、児童数の少ない学校を廃校にし、在校生は希望する	学校適正配置基本方針の中にある「複数の学校を対等な立場で統合し新たな学校を設置する考え方で進めることを

	近隣の学校に行く。翌年度からは廃校した学校の学区域を見直すというシンプルな方向で指針が決まった方が、誤解や混乱を招きにくく皆が納得しやすいと思う。(外2件)	基本とする」という基本理念は、区民や区議会からご意見をお聴きしたうえで定めたものです。まずは、双方の話し合いを重ねつつ、お互いに納得のうえ、進めてまいりたいと考えています。
6	天沼小の児童、保護者の意見等を示して、適正配置の取組が有効であることを説明してほしい。統合までのスケジュールを知りたい。	天沼小の統合後1年間を振り返って、本年3月に児童・保護者・教員を対象にアンケート調査を実施し、教育委員会ホームページにも結果内容を掲載しております。寄せられた回答からは、統合により児童数が増え、活気が出た、友人が増え楽しくなったなど、統合を肯定的に受け止める声を多くいただいております。また、統合までのスケジュールについては、今年度中に、統合の時期、使用する校舎、通学区域などを決め、適正配置計画として策定したいと考えています。その後、両校の関係者からなる統合協議会を設置して、どのような学校にしていくかの具体的な検討を行っていく予定です。
7	「対等な立場で統合」ということだが、永福小に何のメリットがあるのか。	永福小の教員と永福南小の教員とが協働し、両校で実践されてきた優れた教育活動が一体となって実施されることにより、永福小の児童にとっても教育環境の向上が図られるものと考えます。また、これらの活動がより効果的にできるよう、永福小の体育館をプールと一体化して改築し、跡地に特別教室棟を増築するなど施設面での改善を図っていく考えです。

2. 適正配置の進め方について

No.	主な意見の概要	回答
8	永福南小の保護者の方は、実際にどの位の方が統合相手校として永福小を選択したのか。	具体的な調査は行っておりませんが、これまでの永福南小における意見交換の内容等を踏まえ、区としては統合の相手校として永福小が適当であると判断しました。
9	なぜ、説明会を永福南小にはいち早く行き、永福小については9月になってから行ったのか。(外1件)	本年4月、今年度の適正配置検討対象校に永福南小が該当しましたので、まずは、永福南小の学校関係者から学校の現状についてご意見等を伺うとともに、学校を適正な規模にしていくために統合が必要であるという区の考えを理解していただく必要があったためです。そして、8月下旬に統合の相手校を永福小とするという意見集約を図り、こうした方向性を踏まえたうえで、9月に入り、永福小の保護

		者の皆様と意見交換を行うこととなりましたのでご理解ください。
10	兄弟が別々の小学校に通う状況にならないように新校舎の建設に早期に着手してほしい。	適正配置計画を策定次第、校舎の整備等に取り組みたいと考えております。設計から完成までは2～3年を要しますが、統合の時期は学校施設の改善を図った後を予定しておりますので、ご理解ください。
11	施設を新しくすることを条件にした統合は賛成できない。	多様化する教育内容に的確に対応し、子どもたちの教育環境の向上をより一層図る必要があると考え、今回あわせて提案したものです。
12	統合は賛成。子どもたちのフォローだけはしっかりしてほしい。(外1件)	統合までの間は、両校の教育課程を可能な限り調整し、合同授業や学校行事の交流、合同研修会等により、児童や教職員の交流や相互理解に努めてまいります。環境の変化を原因とする子どもたちへの心理的な負担が起これないように、統合前から済美教育センターと連携し、心のケアを行ってまいります。
13	多数の保護者が参加できる意見交換の機会をつくってほしい。	今後も両校の関係者の方々を対象に、適正配置に関する意見交換会を適時実施し、適正配置に向けた意見集約を図っていきます。

3. 教育環境の整備について

No.	主な意見の概要	回答
14	校庭のけやきは残してほしい。	永福小の卒業生の方々や地域の方々によって長い間大切に育てられてきたケヤキの木については、施設の改修等により移植や伐採をすることなく、そのまま残していきます。
15	体育館やプールの改築の際は、騒音、振動や安全面に配慮してほしい。(外1件)	体育館の改築等については、児童や保護者の皆様に一定のご負担をおかけすることになりますが、騒音・振動や安全面などについては、十分に配慮してまいります。
16	なぜ、体育館の改築予定があるのにプール改修を行ったのか。(外1件)	体育館の改築は、統合を機に今後の教育環境を向上させるために必要なものとして、今回提案したものです。永福南小との統合が具体化する前に行われたプール改修は、現在の在校児童の教育環境の向上を図るうえで欠かせないものと判断し実施したものです。

4. 学区域、通学の安全について

No.	主な意見の概要	回答
17	永福小の体育館を改築中に永福南小の体育館を使用する際、児童の移動方法、移動時間、安全面に不安がある。	永福小の体育館の改築中は、永福南小の体育館を使用する予定ですが、児童の移動手段などについては工夫を凝らしながら、安全面についても十分配慮してまいります。
18	浜田山小や和泉小の児童数が多い中、近隣の3校が統廃合すると、永福小に児童が集中するので、学区域を見直した方がよいのではないか。	永福小に児童が集中することがないように、将来的な人口推計も見ながら統合を進めていきたいと考えています。現在、区内の未就学児は若干の増加傾向にありますが、大規模開発が見込めないこの地域は、将来的にみると、児童数はさらに減少することが見込まれます。このため、既存の各小学校について一定の児童数を将来にわたって確保することは難しいことから、この地域においては、統合による適正配置が必要と考えます。
19	治安が悪化する中、通学区域が半径1kmというのは無理がある。	児童の通学可能な距離として、学校適正配置基本方針の中で、小学校においては概ね半径1kmの範囲と定めております。また、統合後における児童の通学の安全を確保するために、通学路に交通安全指導員を適切に配置するなど、安全対策には十分努めてまいります。

5. 学校希望制度について

No.	主な意見の概要	回答
20	永福小に既に在籍している子がいるが、入学を控えている第二子以降に対する学校希望制度の優先枠を確保してほしい。(外9件)	申込みの理由を問わず学校を選べる学校希望制度のもとでは、新入生について、入学を優先的に認めるような特例取扱いをすることは適切ではないと考えます。個々の事情に応じた相談は別途、お受けしたいと考えています。
21	小規模校のよさを活かした永福南小を統廃合することは学校希望制度に矛盾する。	小規模校のよさを活かした教育活動も学校を希望する際の理由のひとつになっているとは思いますが、区では、集団教育の場として望ましい規模を確保したうえで、少人数指導や習熟度別指導など、少人数のよさを活かした学習形態を柔軟かつ効果的に取り入れています。こうした取組についてご理解のうえ、学校を希望していただきたいと考えています。

6. その他

No.	主な意見の概要	回答
22	統合にかかる予算(費用)はどの位か。	予定している永福小の体育館等の改築や既存校舎の改修については、概ね10億円ほどを見込んでいます。
23	永福南小の跡地はどうなるのか。	学校跡地等につきましては、今後、地域の方々から寄せられるご意見等も踏まえ、地域の活性化や教育環境の向上などに寄与する活用方策を検討していく考えです。
24	永福小は、まもなく60周年を迎えるが、その周年行事は実施しないのか。	平成23年に創立60周年を迎えることとなりますが、周年行事の実施時期や方法などについては、学校側と相談・調整のうえ実施していくこととなります。

永福小学校の保護者の方々を対象に、下記の日程で「永福小学校と永福南小学校との統合に関する意見交換会」を開催しました。前回(9月4日、8日)の意見交換会や意見用紙で寄せられた意見を踏まえ、教育委員会の考え方を説明しました。

* 掲載内容は、意見交換会などを通して、学校関係者に配布した資料と同様です。

《意見交換会開催日時》

- ① 10月9日 9:45～
 - ② 10月9日 18:30～
 - ③ 10月24日 16:00～
- [会場:永福小学校]

1. 適正配置の考え方・進め方について

No.	主な意見の概要
1	永福小は現在、適正規模である。天沼小のように小規模校同士が統合した例とは状況が異なる。それなのに、永福小の校名が変わるようなことになるのは理解できない。
2	学校の統合について、ある程度の覚悟を持った保護者がいる永福南小と、これまで全く統合の話が出ていなかった永福小とでは保護者の意識に温度差があると思う。
3	永福南小から移ることになる児童については、他の学校を選び、永福小を希望する人数が少ない可能性があるのに、対等な立場での統合とする必要があるのか。

4	統合までの事前の交流活動等は、どのような形で、どの程度の期間行うことを想定しているのか。
5	永福地域に住む子どもたちのための新しい学校づくりという視点で、話し合うことを心掛けなければならない。
6	適正配置の計画決定までに、どのようなプロセスを経ていくのか。
7	永福南小の保護者側からは、校名等の変更を求める声はどの程度あったのか。
8	地域や保護者の中で色々な話が飛び交っている。校名、校歌の扱いについては、冷静に受け止め、子どもたちに影響が出ないように配慮しなければならない。

2. 教育環境の整備について

No.	主な意見の概要
9	体育館の改築によるデメリットについても、説明すべきである。使用できない期間が1年半程度あるし、騒音や安全の問題もある。
10	永福小は、児童数が多いが1学級あたりの人数が少ないことから、学区外から入学した。統合した場合でも、質の高い教育を進めてほしいと思う。
11	子どもたちの教育環境を向上させることを一番に考えなければならない。統合した場合には、教員への負担が少ないようにする必要があるし、特別教室の十分な確保など、施設面での充実も求められる。

3. 学区域、通学の安全について

No.	主な意見の概要
12	学区域が広がると、教員や保護者に負担が生じることも想定される。学区域をそのまま合体することがベストであるかどうかは検討が必要である。
13	学区域が広がると、子どもの行動範囲が広がる。放課後の安全対策についても配慮が必要になる。